

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	23730
事業名	定山溪地区魅力アップ費					
評価担当課	所 属	経)観光・MI 観光・MICE			電話番号	211－2376
施策名	札幌市・北海道の強みである食や観光分野の産業が、時代の潮流を					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理	○ 法定経費	○ 指定管理費
	○ 直営	○ 一部委託	○ 全部委託	○ 補助・助成	● その他	

事業内容	事業の背景（現在の状況、社会的課題）	平成27年度に「定山溪観光魅力アップ構想」を策定し、本構想に基づき、観光スポットやイベントの充実をはじめとした観光施策を展開。昨今の、旅行形態・ニーズの変化や、持続可能な観光への関心の高まりに応じた、新たな観光施策の展開が求められている。 「定山溪観光魅力アップ構想」の計画期間は令和6年度までのため、現在「次期定山溪観光魅力アップ構想」の策定に取り組んでいる。 令和7年度以降は、「次期定山溪観光魅力アップ構想」に基づき、定山溪の観光振興に寄与する施策を展開する。
	事業内容（何を実施し）	「定山溪観光魅力アップ構想」における4つの基本方針に基づき、ソフト・ハード事業の展開、各種補助を実施する。 ①温泉街らしさにぎわいづくり ・老朽化した施設等の修繕 ・地元事業者が行う修景事業に対し一部費用を補助 ②広域的なネットワーク化による新たな魅力創出 ・各種イベント、周遊促進事業、アクティビティコンテンツ造成にかかる費用の一部費用を補助 ③魅力を伝える情報発信インフォメーションの強化 ・定山溪観光協会が実施する公式ホームページの改修、SNSの運営、アウトドアガイドブック制作等のプロモーション事業の一部費用を補助 ・定山溪観光協会が実施するQRコードを活用した観光スポットナビ事業の一部費用を補助 ④魅力アップの担い手育成とマネジメント ・定山溪観光協会が実施する定山溪検定、教材映像資料作成等に係る一部費用を補助
	どのような状態にしたい（状態を維持したい）	観光客・市民に「選ばれる観光地」であるために、定山溪観光協会や観光関連事業者などと連携して、定山溪地区の新たな魅力創出と、観光資源の磨き上げに寄与する観光施策を継続して実施する。
	他都市の状況	温泉地を有する都市では、入湯税の還元として、補助事業や施設整備のほか、温泉街と連携した魅力づくり、PRなどを行っている。
	市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☒ 対象外

令和4年度決算額	158,588 千円	うち特定財源	3,000 千円	正規職員業務量	0.8 人工
令和5年度予算額	200,000 千円	うち特定財源	63,000 千円	正規職員業務量	1.9 人工
令和5年度決算額	99,339 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	1.9 人工
令和6年度予算額	284,500 千円	うち特定財源	126,000 千円	正規職員業務量	1.9 人工

指標	アウトプット活動指標1	定山溪の宿泊者数				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		759,000人	1,050,000人	920,679人	1,100,000人	1,150,000人	1,200,000人
	↓						
	アウトカム成果指標1	定山溪の宿泊者数				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		759,000人	1,050,000人	920,679人	1,100,000人	1,150,000人	1,200,000人
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	コロナ禍を経て、インバウンドをはじめとした宿泊者数の回復が遅れているが、温泉街としての魅力の向上、豊かな自然を活用したアクティビティなどの新たな魅力創出、認知度を高めるための情報発信強化に継続的に取り組むことで、年間宿泊者数の増加が見込まれる。					
	アウトプット活動指標2					という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標2					という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方						

今年度の見直し内容	・各種イベントやSNSを活用したプロモーションのレベルアップ ・次期定山溪観光魅力アップ構想の策定に向けた地元勉強会の一部費用補助
来年度以降の方向性	「次期定山溪観光魅力アップ構想」については、検討会議と併せて、観光客動態調査・データ分析・ヒアリングなどを実施しながら策定する。本構想策定後は、引き続き地元と連携して、データ収集を行い、その分析に基づいた観光施策を展開することで、定山溪地区延いては札幌市全体の観光振興を図る。